

【開催概要】

■日 時：平成30年3月19日（月）11：00～12：00

■場 所：厚別区役所2階A会議室

■参加者：委員9名（2名欠席）

所属/肩書	氏名（敬称略）
あつべつ区民協議会代表 （札幌市子ども会育成連合会厚別区支部長）	田中 昭夫
あつべつ区民協議会運営委員長・厚別のにぎわい検討委員会委員 （北星学園大学 経済学部教授）	鈴木 克典
厚別区ふれあい推進会会長 （厚別南町内会連合会会長）	牧野 弘志
厚別区庁内連合会連絡協議会会長 （厚別中央町内会連合会会長）	樋田 並久
札幌市青少年科学館管理課長	鑓水 憲一
(株)札幌副都心開発公社 取締役総務部長兼財務企画部担当部長	川尻 寿彦
厚別中央地区 子育てサロンぴーちくパーク代表	西根 由美子
厚別南地区 子育てサロンぼろキッズ代表	木村 和香枝
新さっぽろ冬まつり企画会議代表/あつこい実行委員会委員 区民まつりへのご協力（厚別南町連）	波多野 達郎
北星学園大学 経営学部経営情報学科4年	片山 由貴
北星学園大学 経営学部経営情報学科4年	村上 舞

（欠席）

（欠席）

事務局	
厚別区市民部総務企画課長	國島 徹
厚別区市民部地域振興課長	綿貫 真人
厚別区土木部維持管理課長	桑島 健

## 【議事録】

### 1. ふれあい広場あつべつ・科学館公園の再整備計画について（意見募集の結果と回答について）

・事務局より、計画書（資料編 P52 以降）に基づき説明

### 2. 再整備計画（案）等に関する意見交換

#### 【再整備計画に関する意見】

- ・ 計画書の作りとして、意見募集に対する回答を資料編として添付するのは、計画書の内容及び次年度以降のイメージを補完するものとして、意義のあることと思う。
- ・ 来年度は特に本検討委員会のようなものを個別に立ち上げるイメージはないとのことだが、自主的にまちづくりに関する意見交換を行っている区民協議会（にぎわい検討委員会）では、可能な限り設計段階の情報を提供してもらいたいと考えている。また、区民協議会はどなたでも参加できるので、是非この検討委員会の皆様もご参加いただければと思う。
- ・ P53 以降の関連項目ページがずれているため修正願いたい。
- ・ あり方検討委員以外には、製本したものは配られないのか。まちづくりセンターへの配架や本庁で置くことなど考えていないのか。
  - 厚別区役所やまちづくりセンターに配架する予定。またホームページにも掲載する。（事務局）
- ・ 冊子の枚数が多いため、各自で印刷することが難しい。町内会へリニューアル告知のような A4 サイズ程のチラシを配り、興味を持ってもらってはどうか。
  - 実施設計の段階で変更となる可能性もあるため、現状すぐに配ることは想定しないが、再整備工事前などには配布することも検討したい。（事務局）
- ・ 意見 18・19 の回答は「検討する」となっているが、ぜひ検討するべき。駅周辺の新たな開発が行われる中で、青少年科学館の位置と言うのはちょうど中間であり貴重な場所であるが、科学館もチープ化している。魅力的な施設にしてほしい。
  - ハード面では難しいかもしれないが、ソフト面も含め改善等を促していきたい。（事務局）
- ・ 回答が 10 名と少ないのは、1 か月間しか意見募集期間がなかったからではないか。
  - 1 か月間という期間は、札幌市のパブリックコメント等の期間と照らし合わせて短いとは言えないが、10 名のご意見が伺えてよかったと思っている。（事務局）
- ・ 木を全て残してほしいという意見はあったか？
  - 21 件のご意見の中にはなかった。（事務局）
- ・ 意見 1 の歴史に関するご意見への回答について、あり方検討委員会では、委員の皆様も歴史的な知見をお持ちであることから、それらを踏まえた議論という認識であった。上位計画に歴史が記載されているのであれば、「それらをふまえた計画である」という表現としてはどうか。
  - 正直なところ、意見をくださった方がどこまでの「歴史」を踏まえて検討するべきとおっしゃっているかが不明であった。「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」では、昭和 40 年代の人口増加/副都心への位置づけといった部分は記載されているが、それよりも前の歴史とも感じられるため、「踏まえて…」という表現が難しかった。そのため、歴史的背景は一定程度理解している中で、現在の「新さっぽろ駅周辺地区」の重要な拠点としての位置づけを踏まえつつ、将来に向けて頑張っていきたいという姿勢を回答で伝えたい。（事務局）

- 意見4で盆踊りという意見があるが、やぐらをたてられるのか。  
→ 盆踊りも含め、夏のにぎわいをもっと創出してほしいという意味だと認識している。(事務局)
- 意見20は、公園の再整備に限らず、他の計画の場面でも同じように要望される可能性がある。地下鉄の引き込みもあるため、そもそも構造的に可能なのかということを整理しておく必要がある。歩行者ネットワークはC街区の開発にて強化となっているが、結局は外を歩いて区役所に行くことになるため、根本的な改善策にはなっていない。
- 現在、青少年科学館の利用者でも、駅前商業施設に駐車した人は2時間無料としている。以前、駅前商業施設の工事関係で駐車場を閉鎖した際、青少年科学館利用者分も含めた全体需要を満たすため、G街区の一部を札幌市から駐車場用地として有償でお借りした。そういったこともあり、駅周辺の駐車容量の問題というのはデリケート。G街区事業者とも何らかの相互連携ができると良い。
- 少し話がそれるが、科学館の来館者を増やすためには、施設のリニューアルとともに発信力が重要である。平成30年は、水族館と一緒に科学館のイベントの情報発信をしていき、費用対効果の高い広報活動を展開していきたいと考えている。
- 連携していくという意味で、一体となって新さっぽろに人を集めるということでポイントとなる。ソフト的な連携でタグを組んでいければ良い。
- 青少年科学館駐車場やG街区の駐車場は、夜に開放することはできないのか？今後、I街区を中心に観光客が多くなることが予想される。
- 中央区でも、近くにバス待機場が不足している問題から、運転手にとっては効率が悪い状況となっている。札幌市として何らかの対策を練っているのではないかと思うが、当地区においても中長期的な目線でみる必要がある。
- 科学館の駐車場も観光バスのスペースとしてうまく利用できそうな気がするが、その空間を地域に開放し管理してはどうか、といった提案はどこにしたら良いのか。  
→ 青少年科学館は教育委員会の施設(事務局)
- 中央区でもインバウンド問題を札幌市で対応しているため、良いアイデアがでてくるかもしれない。
- 地区全体のエリアマネジメントを展開するとき、全体の駐車場を有償とし、収入源として得られるのであれば、それを財源にしてイベントを開催するなどできる可能性もある。
- 今回の広場・公園の再整備は、新さっぽろ駅周辺地区まちづくりにおいても非常に大きな要素となってくる。引き続き、地域、周辺事業者と密に連携しながら新さっぽろ地区一体となってより良いまちづくりが進められると良いと思う。

#### 【最後に(事務局)】

- 長い間ありがとうございました。
- 計画策定を進める過程で、改めて広場・公園という財産が皆さまに愛され、期待されていることを感じた。
- 次年度以降は設計を行い、工事が始まる。引き続き地域の皆さま、事業者と連携して進めていきたいと思っているので、ご理解・ご協力のほどお願いしたい。

以上